

家族の笑顔を守る 新世代の歯周病検査



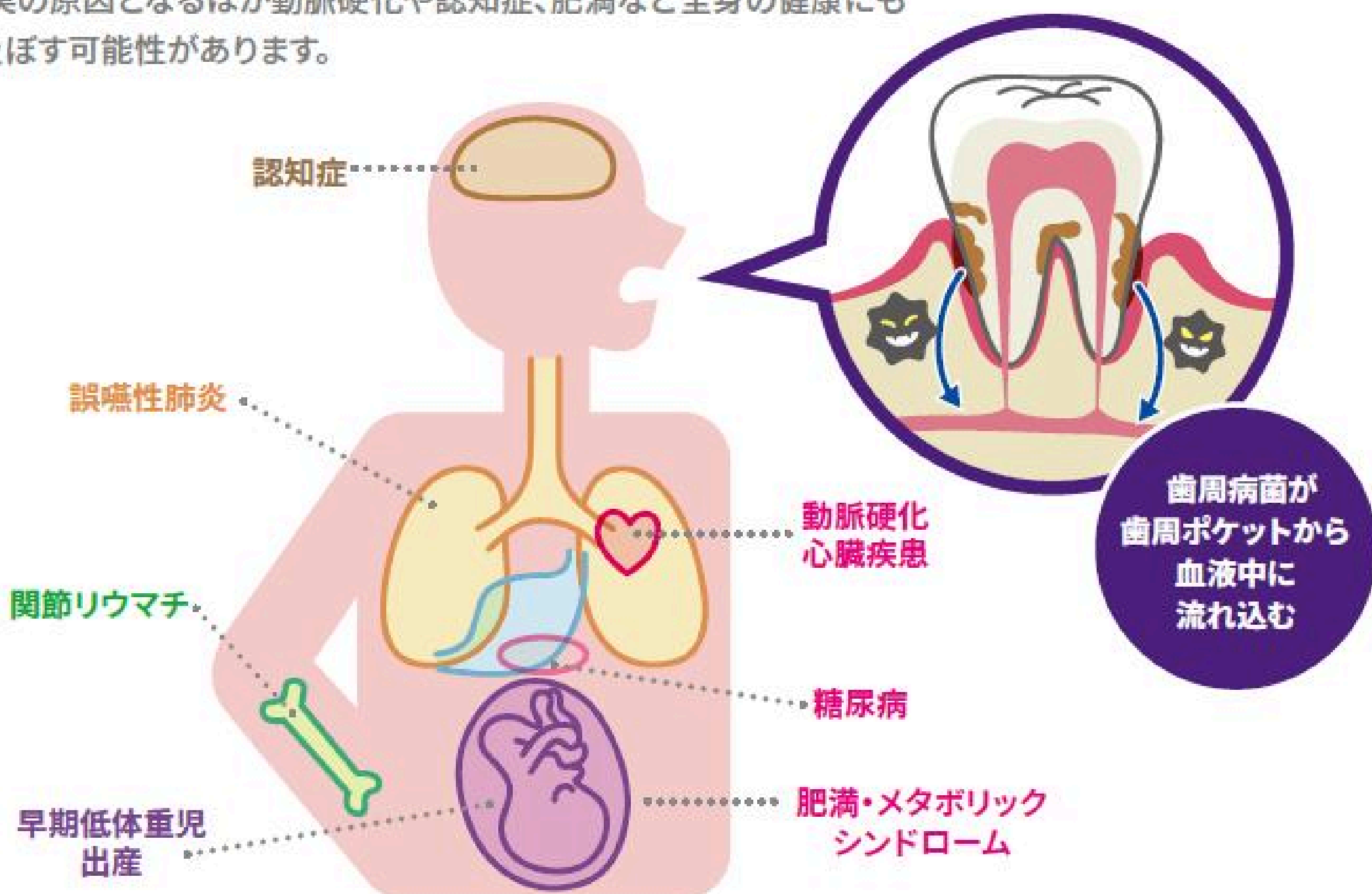
30代以上の3人に2人が罹患する歯周病



口臭・動脈硬化・認知症など
様々な疾患と関連しており、
早期検査と対策が重要です。

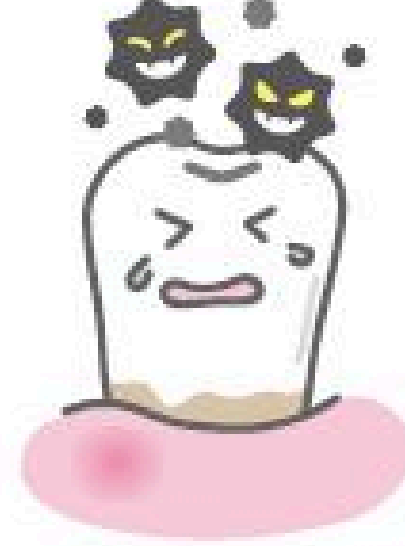
1 歯周病とは

歯と歯ぐきの隙間(歯周ポケット)から侵入した細菌が、歯肉に炎症を引き起こし、歯を支える骨を溶かしてグラグラにさせてしまう状態を歯周病といいます。中年期以降の方や喫煙者では歯周病のリスクが上がります。歯周病の主な原因は、プラーク(歯垢)に存在する細菌です。これらの細菌が歯肉に炎症を引き起こし、歯周組織を破壊していきます。この病気は、初期段階では気づきにくいものの、適切な治療を受けなければ重症化し、口臭の原因となるほか動脈硬化や認知症、肥満など全身の健康にも影響を及ぼす可能性があります。



2 口臭リスクと歯周病菌との関係

口臭の原因は口の中に原因がある事が9割、残りの1割は内臓の疾患などによるものと言われています。一般的に口臭は「病的口臭」、「生理的口臭」、「外因的口臭」の3つに分けられます。歯周病は「病的口臭」に深く関連しており、口臭全体の原因の約3分の1を占めます。



病的口臭

原因: 歯周病菌が発する
硫黄性化合物による強い悪臭
対策: 歯周病治療

生理的口臭

原因: 起床直後、緊張時、加齢、
ホルモンバランス
変化による唾液分泌量の低下
対策: 舌掃除、保湿



生理的口臭



緊張・運動後

外因的口臭

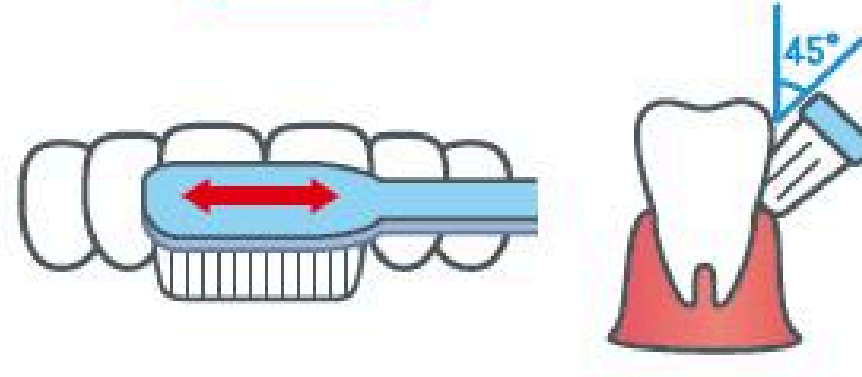
原因: ニンニク、ニラ、納豆などの
匂いの強い食材
対策: プレスケア商品



今日からできる歯周病・口臭ケア3選!

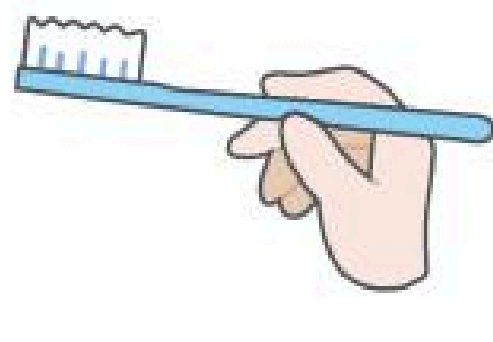
1 正しいブラッシング法を身に付けよう

(1) **NG** 手を大きく動かして磨く → **OK** 細かく動かしながら磨く



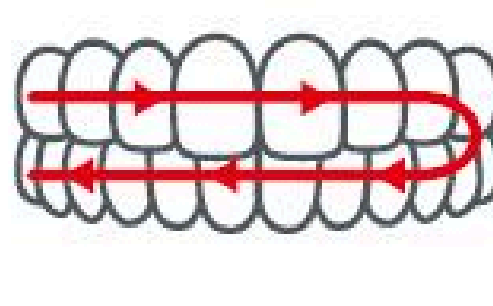
NG例 歯ブラシを大きく動かして3~4本の歯を一気に磨くと、毛先が歯と歯茎の境目や奥歯に届かず、磨き残しが発生します。
OK例 歯ブラシは1本1本丁寧に、5mm程度の幅で細かく動かすことが大切です。特に歯と歯茎の境目は、ブラシを45度の角度で当てて、小刻みに動かす「バス法」が効果的です。

(2) **NG** 力強くゴシゴシ磨く → **OK** 軽い力で優しく磨く



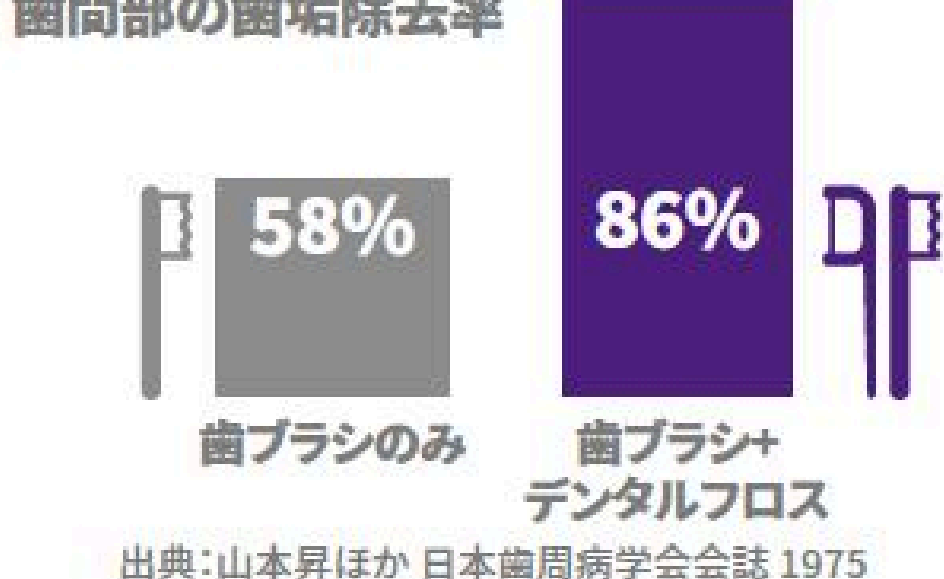
NG例 力を入れてゴシゴシ磨くと、歯茎やエナメル質を傷つけ、知覚過敏や歯茎の退縮を引き起こす可能性があります。
OK例 歯ブラシは軽い力で持ち、毛先が広がらない程度に優しく磨きましょう。

(3) **NG** 磨く順番を気にしない → **OK** 一定の順番で磨く



NG例 磨く順番を決めずにあちこちバラバラに磨いてしまうと、磨き残しが出やすくなります。
OK例 一筆書きのように一定の順番で磨いていくことで、全ての箇所を均等にケアできます。

2 歯間ブラシ(フロス)を使おう



歯垢除去率 1.5倍!

歯と歯の間の狭い隙間に入り込んだ食べかすや歯垢は、デンタルフロスを使うことでしっかり取り除くことができます。研究によると、歯ブラシ単独での歯垢除去率は58%に留まります。しかし、デンタルフロスを併用することで、その効果は86%にまで上昇します。

3 正しい舌苔のケアで口臭対策を

舌磨きで口臭ケアを!

メリット 舌苔を除去して口臭を予防
デメリット 強くこすると舌が傷つく

1日1回程度
やさしく磨く



1 専用の器具を使う

舌苔を取り除く際には、専用の「舌ブラシ」や「舌クリーナー」を使用することが推奨されます。通常の歯ブラシでも代用できますが、舌のデリケートな表面を傷つけにくいというメリットもあります。

2 1日1回までにする

頻繁に舌を磨くと、かえって舌の粘膜や味覚を感じる「味蕾」を傷つけてしまう可能性があります。そのため、舌苔ケアは1日1回を目安に行いましょう。

3 奥から前に向かって優しく磨く

舌苔を除去する際は、必ず「奥から前」に向かって優しく磨くことが大切です。強くゴシゴシこすりすぎると舌の表面を傷つけるだけでなく、逆に細菌が繁殖しやすくなることもあります。

独自の遺伝子解析技術で 健康社会をリードする



近年、私たちは感染症による生命の脅威を経験し、その対策の必要性を痛感しました。ライフスタイルの急速な変化や高齢化社会の進行により、医療費の増大が社会経済や高齢化負担を遂行しており、予防医療と健康管理の強化が急務となっています。また、男女が平等な機会を確保することが、公正かつ幸福な社会の実現に不可欠であり、特に女性の健康支援が重要となることが明確です。さらに現在、世界では急激な人口増加に伴い、食糧供給の確保が困難になりつつあり、持続可能な食糧生産が重要な課題となっています。

私たち株式会社ビズジーン(VisGene, Ltd.)は、多様な社会課題に対応するべく、様々な遺伝子の情報を可視化(ミル)し、リスクやベネフィットをすること(シル)で、人々の生活をよりよく変える(カエル)ための技術とサービスを提供しています。これらの取り組みにより、社会に健康と安心を提供することに挑み続けています。

代表取締役
開発 邦宏

お問い合わせ: 共同研究、代理店、各種サービスに関するご相談